

# 洋風便器 (排水芯可変タイプ)



メーカー管理用です。

BC-F20H系 HBC-F20H系

**取付業者さまへ**

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

## 安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

### 用語の説明

**警告** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

**注意** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ . . . 「注意しなさい！」  
(必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘ . . . 「してはけません！」  
(一般的な禁止記号です。)

❗ . . . 「指示通りにしなさい！」  
(一般的な行動指示記号です。)

## ⚠ 警告

- 水かけ禁止** 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。  
※ 感電・火災の恐れがあります。(100V 電源使用の場合)
- 分解禁止** 絶対に分解や改造は行わないでください。  
※ 感電・火災・ケガの原因になります。(100V 電源使用の場合)
- ぬれ手禁止** ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。  
※ 感電の原因になります。(100V 電源使用の場合)
- 水場使用禁止** バスルーム内など、湿気が多い場所には、設置しないでください。  
※ 感電・火災の原因となります。(100V 電源使用の場合)
- 禁止** 電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。  
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。(100V 電源使用の場合)

- 禁止** ガタついているコンセントは使用しないでください。  
※ 感電・火災の原因になります。(100V 電源使用の場合)
- 禁止** ● AC100V 以外では使用しないでください。  
● タコ足配線など、定格をこえる使い方はしないでください。  
※ 火災の原因となります。(100V 電源使用の場合)
- 指示実行** 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。  
※ 感電・火災の原因になります。(100V 電源使用の場合)
- 指示実行** 電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず資格を有する者が行ってください。  
※ 火災・漏電のおそれがあります。  
※ 不適切な工事を行うと、法令により処罰等されることがあります。

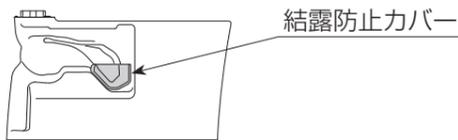
## ⚠ 注意

- 指示実行** 陶器は割れものです。  
● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。  
● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。  
※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。
- 指示実行** 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。  
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行** お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。  
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

## 施工前のご確認

### 開梱時の注意

⊘ **結露防止カバーは外さないでください！**  
※ 外してしまうと、再度取付けることができません。また、結露で床を濡らすことがあります。

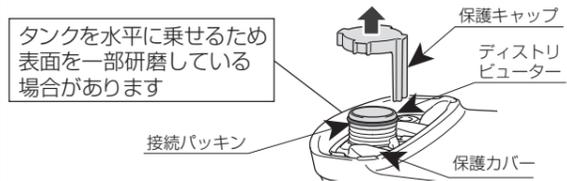


⊘ **ディストリビューターの保護カバーは外さないでください！**

❗ **ディストリビューターの保護キャップは、タンクまたはシャワートイレ取付け直前に必ず上方に真っ直ぐ外してください！**

※ 施工前に保護キャップを外してしまうと、接続パッキンにゴミが付着し漏水の原因になります。

※ 保護キャップを外し忘れると、タンクまたはシャワートイレと正常に施工できず漏水の原因になります。

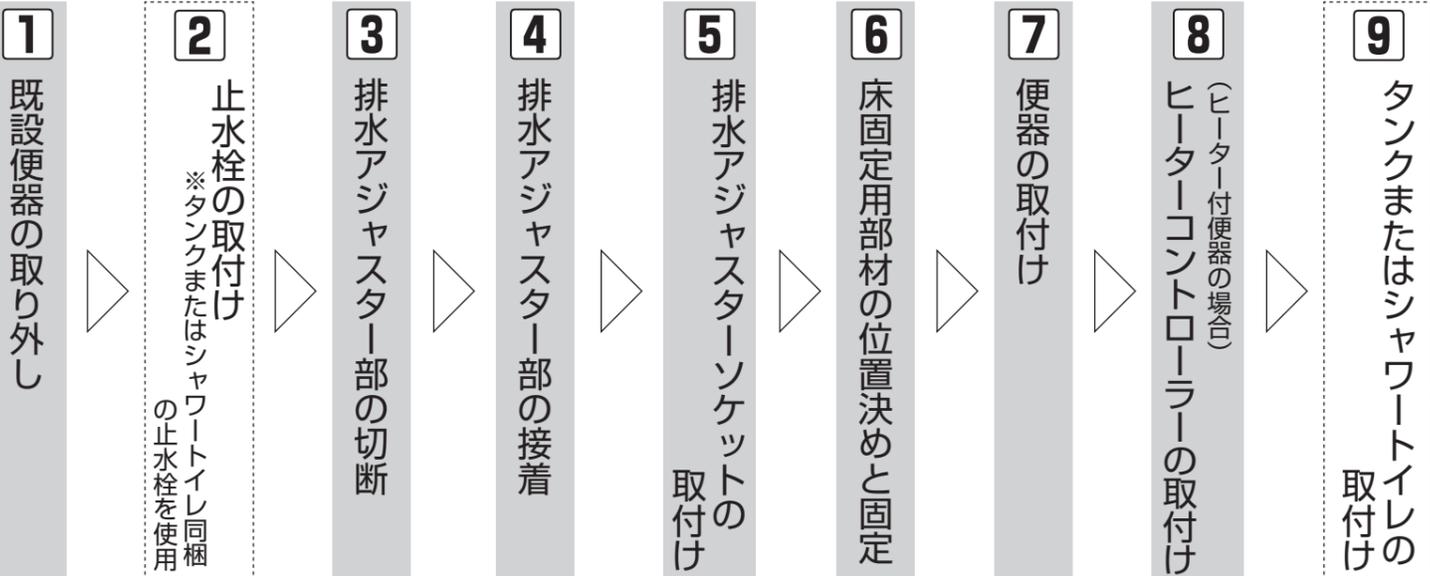


### 部品の確認 (梱包内容を確認してください。)

品番によって同梱される部材がかわります。			
便器  便器：1台 (ヒーター仕様を手配の場合は、ヒーターコントローラーが付属しています。)	排水アジャスターソケット  ガスケット：1個 変換アダプター：3種 排水アジャスター部：1個 フランジ接続部：1個 排水管接続部：1個	施工説明書  施工説明書：1部	
ねじ類			固定部材セット
床固定用木ねじ類 化粧キャップ：2個 ワッシャー：2個 (φ18) 床固定用木ねじ：2本 (φ6×45) ワッシャー：2個 (φ18)	固定用木ねじ (φ6×40)：2本 ワッシャー (φ23)：2個	AY仕様を手配の場合 AY-86D：2本セット×1 AY-23W：1本×2	床固定用木ねじ類 (排水芯 120mm用) 固定用木ねじ：2本 (φ6×40) ワッシャー：2個 (φ23) スペーサー (白)：2個 AY仕様を手配の場合 AY-23W：1本×2
			フランジ固定用ねじ 固定用粘着材：1個 フランジナット：2個 ワッシャー：2個 (φ22) Tボルト：2本 床固定部材：1個 施工型紙：1枚

### 施工手順

■ は本書を、□ はタンクまたはシャワートイレ同梱の施工説明書に従って正しく取付けてください。



# 給水・排水芯範囲

## 使用する水について

● シャワートイレをお使いの際は同梱している施工説明書に記載の水質・水圧条件で接続ください。

## 止水栓・給水範囲について

- タンクまたはシャワートイレに同梱されている止水栓を使用します。
- 便器を取付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ (LF-7T を推奨) などでカバーをしてください。
- 給水範囲が所定の位置にあるか確認をしてください。対応できる給水範囲は下記になります。
- 止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調整してください。

## 排水管について

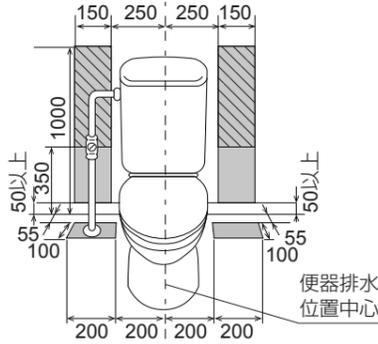
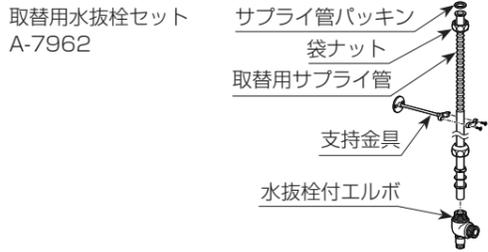
- 便器を取付けるまで、異物が混入しないように、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。
- 排水位置が指定の位置であることを確認してください。既設の給水位置によって対応できる排水芯が異なります。タンクまたはシャワートイレと壁が干渉して施工できない恐れがあります。

## A 密結・平付ロータンクの場合

### 給水位置

既設の便器が密結・平付ロータンク等で給水位置が右記の と の場合。  
→同梱の給水部材で設置可能です。

給水位置が右記の で且つ水抜方式の場合。  
→水抜きが出来ないため下記の部材が別途必要になります。



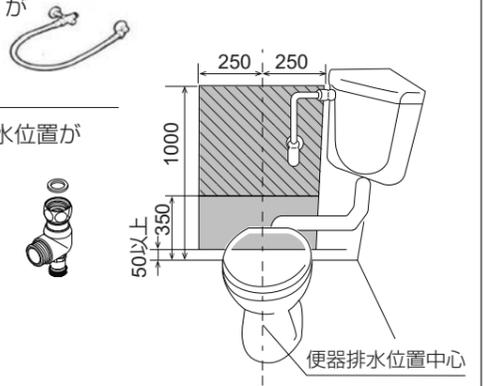
※シャワートイレの場合、こちらの部材は使用しません。

## B 隅付ロータンクの場合

### 給水位置

既設の便器が隅付ロータンク等で給水位置が右記の と の場合。  
→取替用止水栓 TF-3892ER が別途必要になります。

水抜方式を施工する際に、給水位置が右記の の場合。  
→水抜きが出来ないため、取替用止水栓と水抜栓付エルボ A-3850 が別途必要になります。



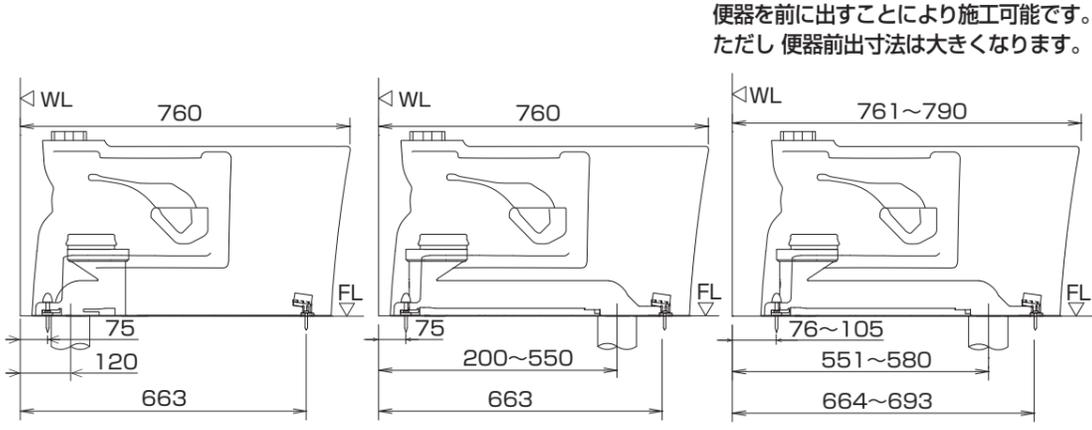
※シャワートイレの場合、こちらの部材は使用しません。

排水芯 120mm

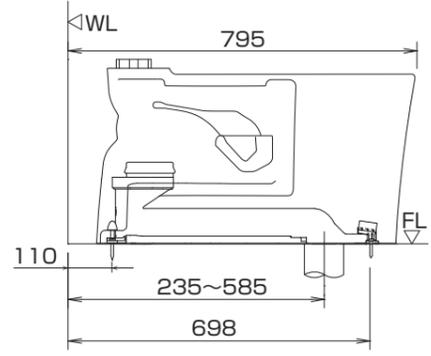
排水芯 200 ~ 550mm

排水芯 551 ~ 580mm

排水芯 235 ~ 585mm



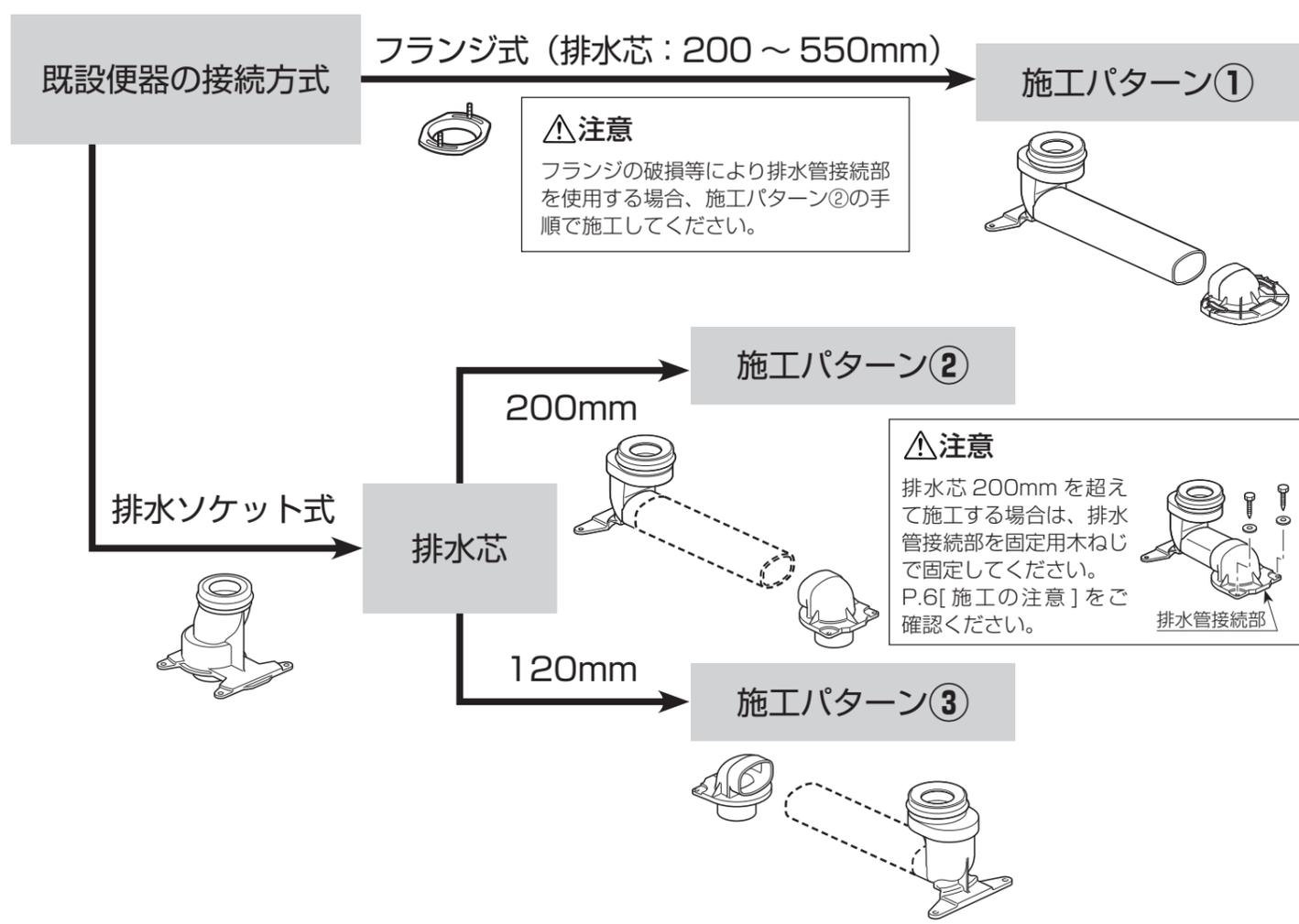
① 便器を 35mm 前に出しての施工となり、便器前出寸法は大きくなります。



※排水芯 120 の場合、タンク裏面に給水取出し位置があると設置できません。

## 施工パターン診断フローチャート

既設の便器によって施工パターンが異なります。下記フローチャートにて診断ください。



施工手順の参考動画があります。

詳細は以下から読み取って、各施工方法をご覧ください。  
※ 通信料はお客様のご負担となります。  
※ お使いの環境・端末によっては、閲覧できない場合があります。  
※ 実物と動画のデザインが異なる場合がありますが、施工手順に影響はありません。

施工パターン①



施工パターン②



施工パターン③



## 施工パターン①のポイント

**Point 9**  
ディストリビューターの保護キャップは、タンクまたはシャワートイレ取付け直前に必ず上方に真っ直ぐ外してください。  
= 9 タンクまたはシャワートイレの取付け

**Point 10**  
ディストリビューターの左右の細長いリブが両方とも便器の中に入っていることを確認してください。  
※細長いリブが便器の中に入っていないと洗浄不良やタンクの止水不良が発生する恐れがあります。  
= 9 タンクまたはシャワートイレの取付け

**Point 8**  
強く締めすぎて便器を割らないこと。  
= 7 便器の取り付け

**Point 3**  
排水アジャスターソケットを床へ固定する際には、不陸にご注意ください。  
※排水アジャスターソケットを逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。  
= 5 排水アジャスターソケットの取付け

**Point 2**  
フランジ接続部をご使用ください。  
※接着するフランジ接続部を間違えると設置できなくなります。  
= 4 排水アジャスター部とフランジ接続部の接着

保護キャップ

ディストリビューター

化粧キャップ

ナット

ワッシャー (φ 18)

床固定用木ねじ (φ 6 × 45)

ワッシャー (φ 18)

排水アジャスターソケット

フランジ接続部

ガasket

T ボルト

**使用しない部品**  
・排水管接続部 × 1  
・変換アダプター 3 種  
・スペーサー × 2  
・固定用木ねじ × 2  
・ワッシャー (φ 23) × 2

**固定用粘着材**

**Point 6**  
気温が低い場合、固定用粘着材が固くなることがあります。  
①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。  
②20 ~ 30℃のぬるま湯で温めるなど、柔らかくしてからご使用ください。  
※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて温めてください。  
= 7 便器の取付け

**Point 7**  
切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取除いてください。  
※便器の固定不良の原因になります。  
= 7 便器の取付け

**Point 11**  
固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。  
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。  
= 便器の取付け後の確認

**Point 4**  
施工型紙を使用して位置決めすること。  
= 6 床固定用部材の位置決めと固定

**Point 1**  
塩ビ用接着剤は必ず両方に塗布すること。  
接着剤乾燥前に排水アジャスター部とフランジ接続部の奥まで差し込むこと。  
= 4 排水アジャスター部とフランジ接続部の接着

## 施工パターン②のポイント

**Point 2**  
排水管接続部をご使用ください。  
※接着するフランジ接続部を間違えると設置できなくなります。  
= 4 排水アジャスター部とフランジ接続部の接着

ワッシャー (φ 18)

※施工パターン①の Point を同時にご確認ください

固定用木ねじ (φ 6 × 40)

床固定用木ねじ (φ 6 × 45)

ワッシャー (φ 18)

**使用しない部品**  
・フランジ接続部 × 1  
・ガasket × 1  
・スペーサー × 2  
・固定用木ねじ × 2  
・ワッシャー (φ 23) × 2  
・フランジ固定用ねじ類

排水アジャスターソケット

変換アダプター

**Point 5**  
必ずスペーサー (白) を入れてください。  
※便器の固定不良の原因になります。  
= 6 床固定用部材の位置決めと固定

## 施工パターン③のポイント

**Point 2**  
排水管接続部をご使用ください。  
※接着するフランジ接続部を間違えると設置できなくなります。  
= 4 排水アジャスター部とフランジ接続部の接着

ワッシャー (φ 18)

※施工パターン①の Point を同時にご確認ください

**使用しない部品**  
・フランジ接続部 × 1  
・ガasket × 1  
・フランジ固定用ねじ類

固定用木ねじ (φ 6 × 40)

床固定用木ねじ (φ 6 × 45)

ワッシャー (φ 18)

ワッシャー (φ 23)

固定用木ねじ (φ 6 × 40)

ワッシャー (φ 23)

変換アダプター

**Point 5**  
必ずスペーサー (白) を入れてください。  
※便器の固定不良の原因になります。  
= 6 床固定用部材の位置決めと固定

# 施工方法

## 1 既設便器の取り外し

施工パターン①の場合  
(フランジ式：排水芯  
200mm 以上の場合)

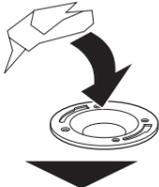
既設の便器を取り外し、  
ガasketをきれいに  
取り除く。

### ⚠注意

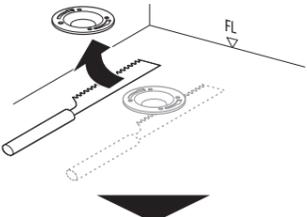
●フランジの破損等により排  
水管接続部材を使用する場  
合、施工パターン②の手順  
で施工してください。  
ただし P.6[施工の注意]  
をご確認ください。

＜フランジの外し方＞

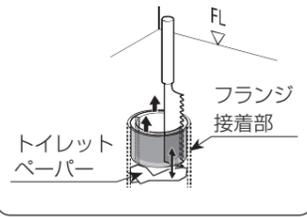
① 破片落下防止のために、丸  
めたトイレトペーパーを  
詰めます。



② 床面位置で切断し、フラン  
ジ上部を取り外します。



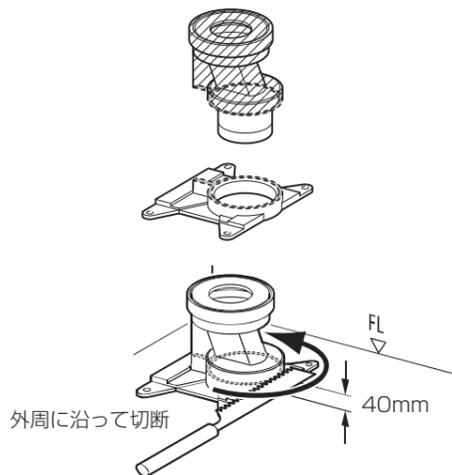
③ 配管を傷つけないようにフ  
ランジ接着部に縦の切り込  
みを入れ、フランジ接着部  
を外します。



施工パターン②、③の場合  
(排水ソケット式：排水芯 200mm、120mm の場合)

### 既設 排水ソケットの取外し方法

(1) 排水ソケットを切断する。  
ビスを外し、外周部を高さ40mm位置で  
切断します。



### ⚠注意

排水ソケットを取外す際は、事前に確認ください！  
※排水ソケットは、2重構造になっています。内側ま  
で一度に切断してしまうと、排水ソケットの一部が  
落下し、排水管の詰まりの原因になりえます。

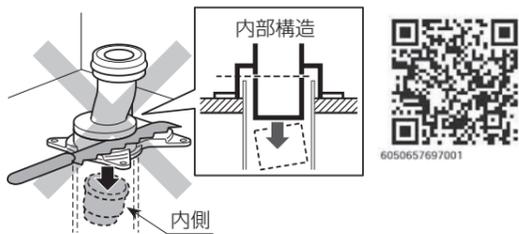
施工手順の参考動画があります。

詳細は以下から読み取って、「LIXIL(INAX) 製 既設・  
排水ソケットの取り外し方法」の施工方法を動画でご  
覧いただけます。

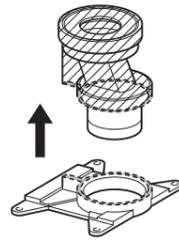
※通信料はお客様のご負担となります。

※お使いの環境・端末によっては、閲覧できない場合  
があります。

※実物と動画のデザインが異なる場合がありますが、  
施工手順に影響はありません。

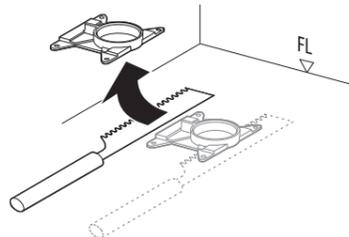


(2) 排水ソケットの着脱を確認する。  
排水ソケット上部が取外せるか確認します。



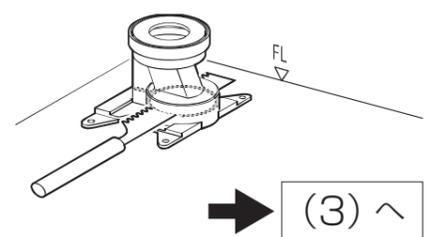
### ●外せる場合 (VP/VU100)

外した後、床面と下部の間にノコギリの歯  
を入れ排水管を切断し、下部を取外す。



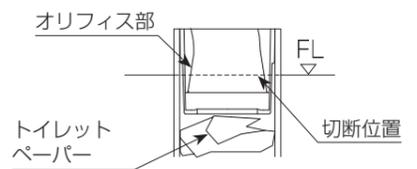
### ●外せない場合 (VP/VU75)

外周部を切断した位置で内部まで切断し、  
排水ソケットを取外す。



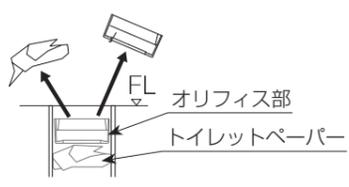
(3) へ

(3) トイレトペーパーを排水管に詰めて、床面位置で切断する。  
オリフィス部落下防止のため、丸めた  
トイレトペーパーを詰め、床面位置  
で切断します。

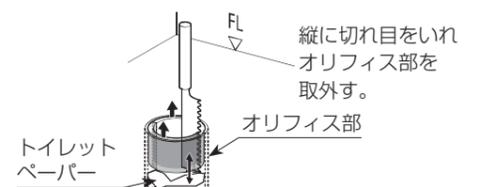


(4) オリフィス部が取外せるか確認する。

### ●外せる場合 (VU75)



### ●外せない場合 (VP75)



### ⚠注意

配管にキズをつけないように注意して取外して下さい。  
※漏水や臭気漏れの原因になります。

## 2 止水栓の取付け

タンクまたはシャワートイレ同梱の施工説明書に従って正しく取付けてください。

## 3 排水アジャスター部の切断

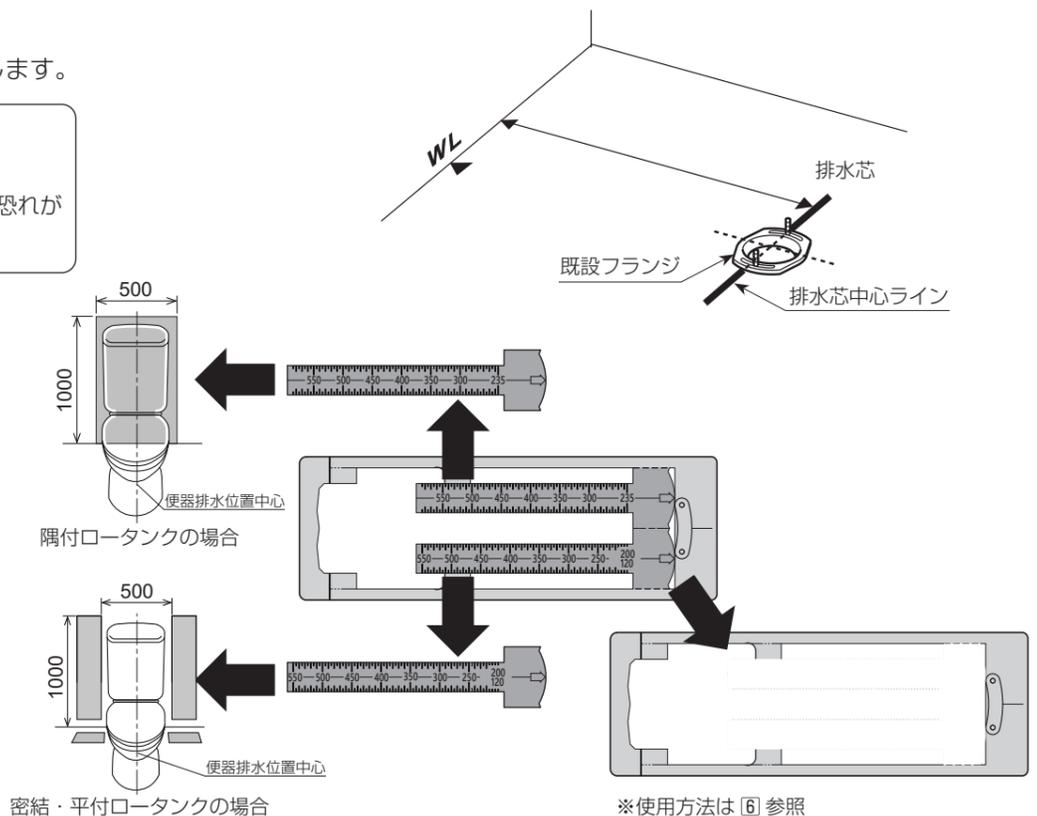
(1) 排水芯を測定する。  
排水芯中心ラインを壁と平行に書き、後ろの壁から排水芯までを測定します。

### ⚠注意

●便器の位置を決める重要な線です。排水芯中心ラインを必ず引いてください。  
※壁と平行に線を引かないと、便器・タンクまたはシャワートイレが壁に干渉する恐れが  
あります。

(2) 施工型紙の □ 色部分を切り取る。  
□ 色部分は、排水アジャスター部切断のメジャーになります。

(3) 切り取った型紙のメジャーを選定する。  
給水、排水芯範囲を確認してメジャーを選定してください。  
選定したメジャーを切り取ります。

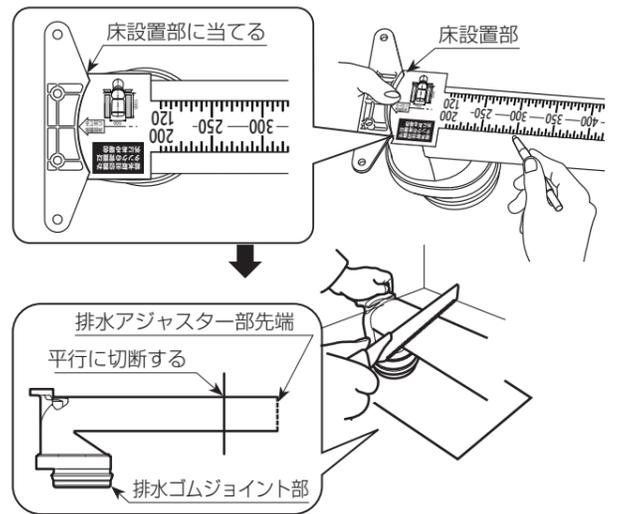


### 3 排水アジャスター部の切断 (つづき)

- (4) 排水アジャスターの切断位置に印をつける。  
排水アジャスター部を裏返し、切り取ったメジャーを床接地部に当てて、③の(1)で測定した排水芯の目盛りで印をつけます。
- (5) 排水アジャスター部を切断する。  
排水アジャスター部の下に梱包材などを敷いてから切断ください。

#### ⚠️注意

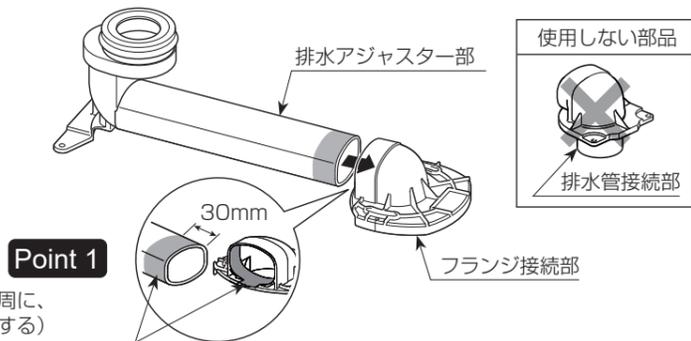
- 排水アジャスター部を長く切らないでください。  
※便器が壁寄りに設置されてしまうため、便器と壁が干渉し、施工できない恐れがあります。
- 排水アジャスター部やフランジ接続部を落下させないでください。  
※部材の損傷部から漏水する恐れがあります。
- 切断は排水アジャスター部先端と平行になるように行ってください。  
※斜めに切断すると、漏水・臭気発生の原因になります。
- 切断後、排水アジャスター部にバリ等が残らないようにしてください。  
※バリがある事で、漏水する恐れがあります。
- 切断時に排水ゴムジョイント部を傷つけないようにしてください。  
※部材の損傷部から漏水する恐れがあります。



### 4 排水アジャスター部の接着

施工パターン①の場合 (フランジ式: 排水芯 200mm 以上の場合)

- (1) 排水アジャスター部とフランジ接続部に塩ビ管用接着剤を塗る。  
差込しろ (■部分) に塩ビ管用接着剤を2、3回重ね塗りします。

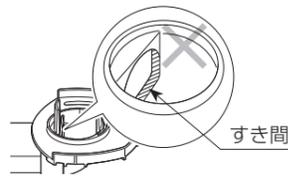


差込しろ (網掛け部全周に、塩ビ管用接着剤を塗布する)

- (2) 接着剤乾燥前に奥までフランジ接続部を差し込む。

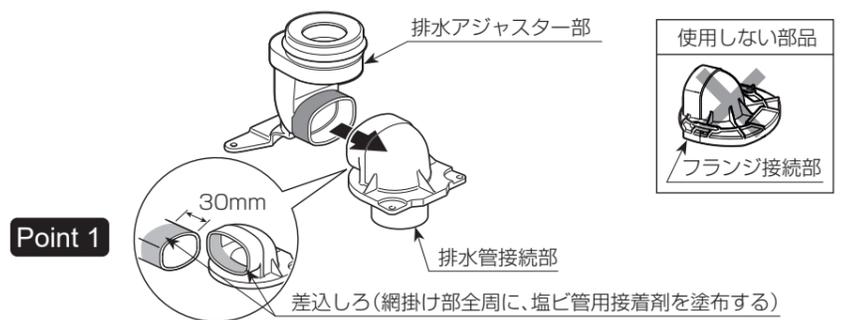
#### ⚠️注意

- Point 1** ●奥までの差込み・両端部の全周に接着剤塗布が確実にしてある事を確認してください。  
※不十分だと、漏水・臭気発生の原因になります。  
※接着剤が乾燥する前に差込みをしないと奥まで差し込めず施工不良の原因になります。
- Point 2** ●フランジ接続部の形状 (フランジ接続部と排水管接続部) をよく確認して接着してください。  
※接着する接続部材を間違えると設置できなくなります。



施工パターン②、③の場合 (排水ソケット式: 排水芯 200mm、120mm の場合)

- (1) 排水アジャスター部と排水管接続部に塩ビ管用接着剤を塗る。  
差込しろ (■部分) に塩ビ管用接着剤を2、3回重ね塗りします。



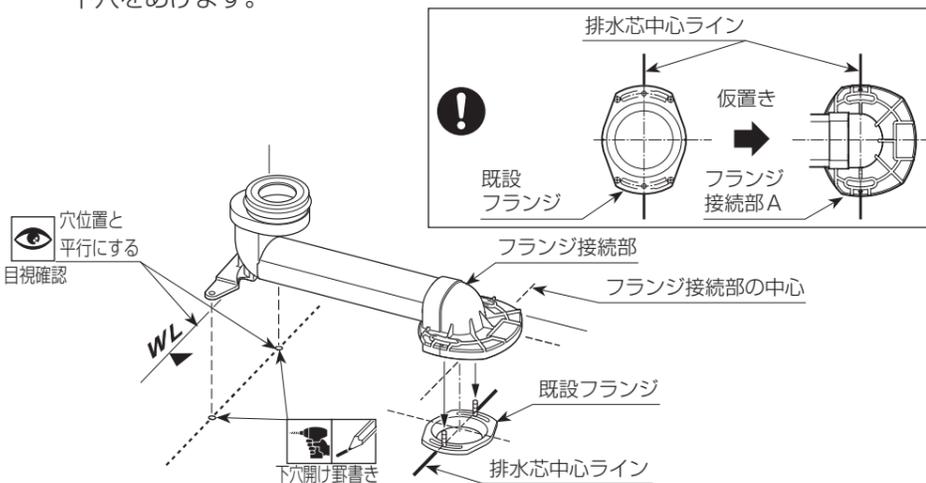
差込しろ (網掛け部全周に、塩ビ管用接着剤を塗布する)

- (2) 接着剤乾燥前に奥まで排水管接続部を差し込む。

### 5 排水アジャスターソケットの取付け

施工パターン①の場合 (フランジ式: 排水芯 200mm 以上の場合)

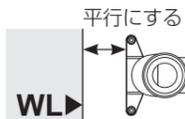
- (1) 排水アジャスターソケットを仮置きし、けがき・下穴をあける。  
③-(1) で引いた排水芯中心ラインとフランジ接続部の排水芯中心を合わせて排水アジャスターソケットを後ろ壁に対して平行に仮置きし、けがき・下穴をあけます。



床がタイルまたはコンクリートの場合、AY ボルト (AY-86D) を使用するため下穴 (径 11、深さ 55) を開ける。



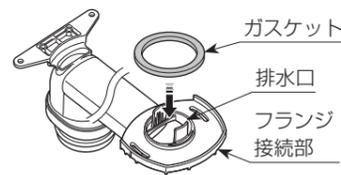
排水アジャスターソケットは必ず後壁に対して平行に取付けてください。  
※斜めに取付けると便器が斜めに取付き、便器・タンクまたはシャワートイレと壁が干渉する可能性があります。



#### ⚠️注意 Point 3

- 排水アジャスターソケットの仮置き時に、床面の傾きや不陸を確認ください。  
※排水アジャスターソケットを逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因になります。

- (2) 排水アジャスターソケットにガスケットをつける。  
排水アジャスターソケットを外して反転させ、フランジ接続部にガスケットを付けます。



#### ⚠️注意

- 既設フランジにフランジ接続部を取付ける際は、既設フランジの中心とフランジ接続部の中心をあわせてください。  
※フランジ接続部がずれて施工されると、詰まりが発生する恐れがあります。

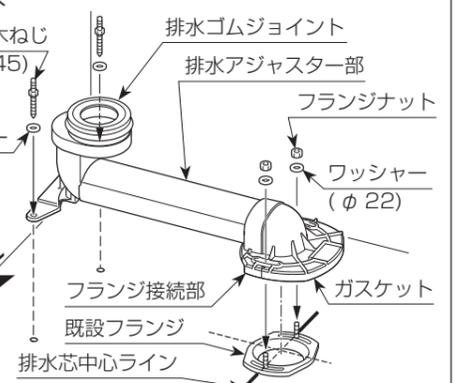
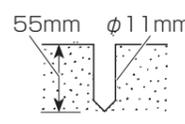
- (3) 排水アジャスターソケットを既設フランジに固定する。  
再度、排水芯中心ラインとフランジ接続部の排水芯中心を合わせて、同梱のフランジ固定用ねじ類で固定します。

#### ⚠️注意

- フランジナットで固定の際は、締め過ぎないようにしてください。  
※既設フランジが破損し、漏水する恐れがあります

- (4) 排水アジャスターソケットを床に固定する。  
排水アジャスター部は床固定用木ねじ・ワッシャー (φ 18) を使用し固定します。フランジ接続部はフランジナット・ワッシャーを使用し固定します。

床がタイルまたはコンクリートの場合、AY ボルト (AY-86D) を使用するため下穴 (径 11、深さ 55) を開ける。



- (5) 排水アジャスターソケットの接続部の漏水確認をする。  
排水ゴムジョイント側から水を流し、接続部から漏水が無いことを確認します。

## 5 排水アジャスターソケットの取付け (つづき)

施工パターン②の場合 (排水ソケット式: 排水芯 200mm の場合)

施工パターン③の場合 (排水ソケット式: 排水芯 120mm の場合)

### 変換アダプターの取付け

排水管の内側をきれいにし、塩ビ管用接着剤を塗布し、接着する。  
イラスト塗布部 (■色部分) に塩ビ管用接着剤を 2、3 回塗り、接着します。

#### ● VP75 の場合

変換アダプターとの接着しない。

#### ● VU75 の場合

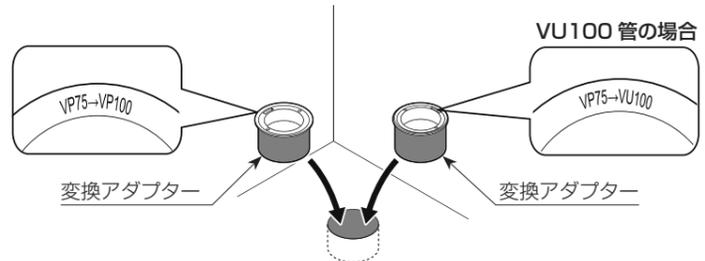
排水ソケットと変換アダプターを接着。

#### ● VP100 の場合

排水管と変換アダプターを接着。

#### ● VU100 の場合

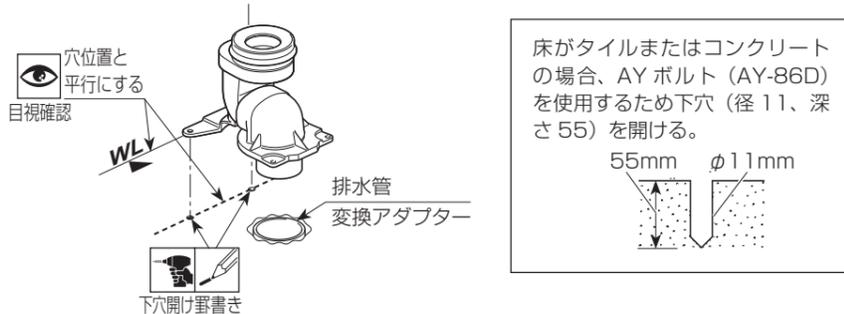
排水管と変換アダプターを接着。



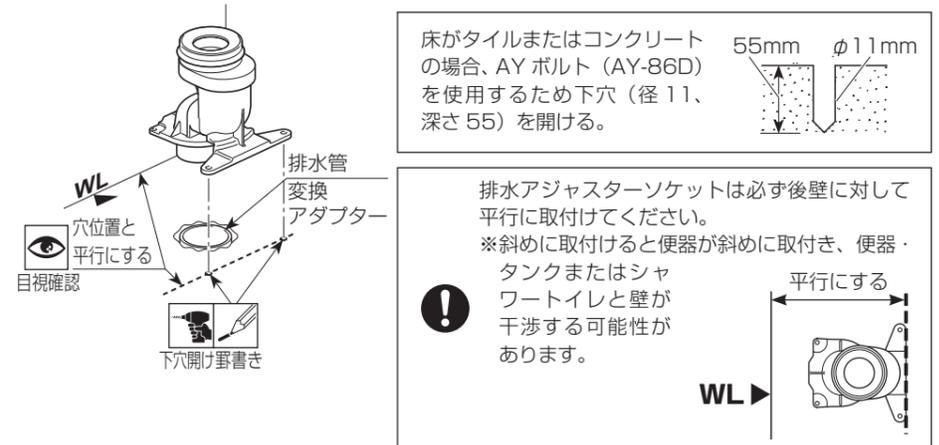
#### △注意

- 排水管の切断面のバリ、汚れはあらかじめ除去してください。
- 排水管と排水アジャスターソケットの密着部は、塩ビ管用接着剤を塗る前にきれいにし、確実に接着を行ってください。  
※ 接着が不十分の場合、漏水、臭気発生の原因になります。
- 一度接着すると手直しができませんので注意してください。
- 塩ビ管用接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布してください。  
※ 片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。
- 排水ソケットは下面が床面に当たるまで押し込んでください。  
※ 不十分な場合、排水ソケット、便器の固定時に器具が破損するおそれがあります。

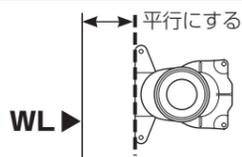
(1) 排水アジャスターソケットを仮置きし、けがき・下穴をあける。



(1) 排水アジャスターソケットを仮置きし、けがき・下穴をあける。



- 排水アジャスターソケットは必ず後壁に対して平行に取付けてください。  
※ 斜めに取付けると便器が斜めに取付き、便器・タンクまたはシャワートイレと壁が干渉する可能性があります。



(2) 排水管と排水アジャスターソケットを接着する。

排水管と排水アジャスターソケットの両方に塩ビ管用接着剤を塗り、接着します。接着剤に記載されている乾燥時間を順守してください。  
※ 変換アダプターを使用している場合は、変換アダプターにも塩ビ管用接着剤を塗布してください。

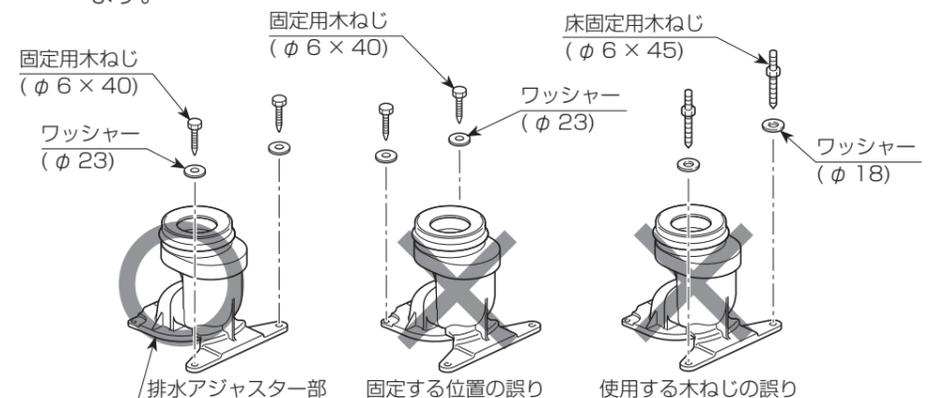


#### 【VU75 の場合】

- 排水管には垂直に差し込んでください。
- ※ 斜めに差し込むと、変換アダプターがよじれ、漏水や異臭漏れの恐れがあります。

(3) 排水アジャスターソケットを床に固定する。

排水アジャスター部は固定用木ねじ・ワッシャー (φ 23) を使用し固定します。



(3) 排水アジャスターソケットを床に固定する。  
排水アジャスター部は固定用木ねじ・ワッシャー (φ 18) を使用し固定します。

#### 【施工の注意】

- 排水芯 200mm を超えて施工する場合は、排水管接続部を同梱の固定用木ねじ・ワッシャー (φ 23) で 2 か所固定してください。



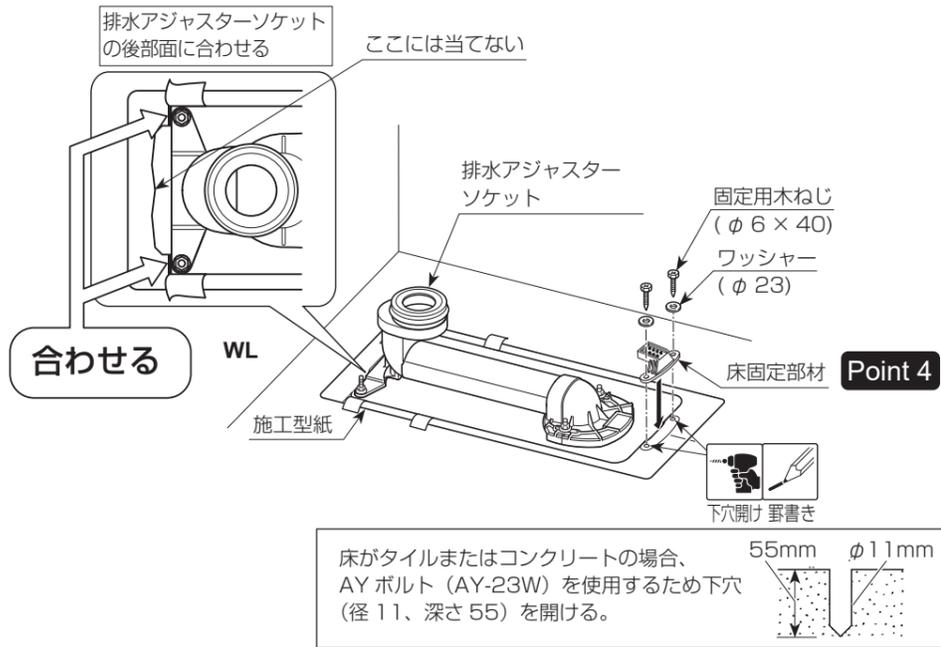
#### △注意

- 排水管の切断面のバリ、汚れはあらかじめ除去してください。
- 排水管と排水アジャスターソケットの密着部は、塩ビ管用接着剤を塗る前にきれいにし、確実に接着を行ってください。  
※ 接着が不十分の場合、漏水、臭気発生の原因になります。
- 一度接着すると、手直しができませんので注意してください。
- 塩ビ管用接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布してください。  
※ 片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。
- 排水ソケットは下面が床面に当たるまで押し込んでください。  
※ 不十分な場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

## 6 床固定用部材の位置決めと固定

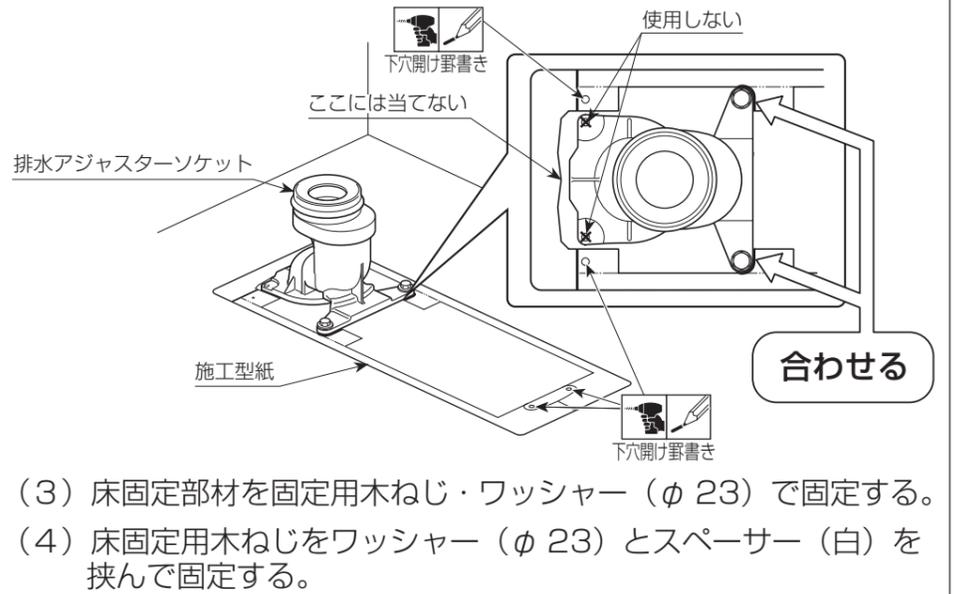
施工パターン①、②の場合（排水芯 200mm 以上の場合）

- 排水アジャスターソケットの後端に施工型紙を合わせる。  
**Point 4** ● ③-(2) で切り離した施工型紙を使用します。
- 床固定部材のけがき・下穴をあける。  
床固定部材取付穴をけがきます。  
施工型紙を取除き、下穴をあけます。
- 床固定部材を固定する。  
固定用木ねじ・ワッシャー（φ 23）を使用し固定します。



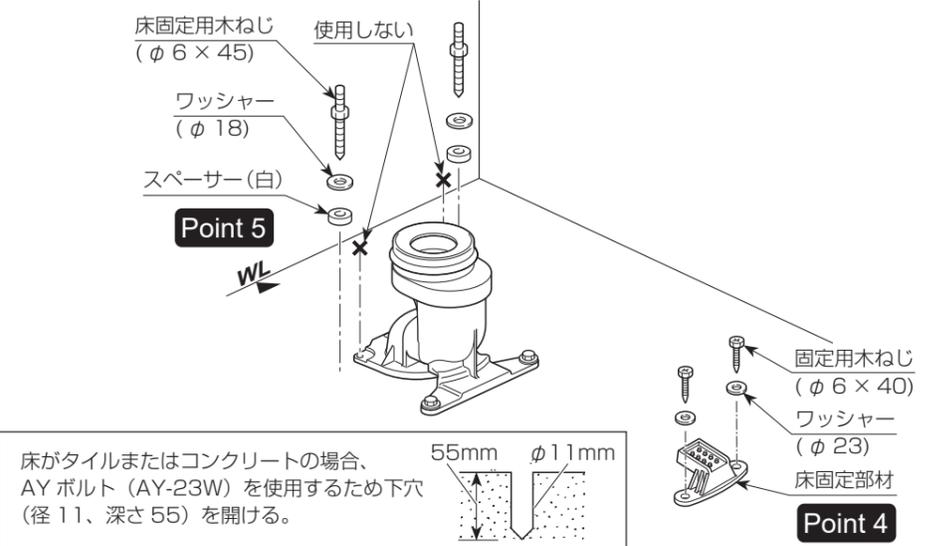
施工パターン③の場合（排水芯 120mm の場合）

- 排水アジャスターソケットの後端に施工型紙を合わせる。  
**Point 4** ● ③-(2) で切り離した施工型紙を使用します。
- 床固定部材取付穴（2カ所）および便器固定穴（2カ所）をけがき・下穴をあける。



- 床固定部材を固定用木ねじ・ワッシャー（φ 23）で固定する。
- 床固定用木ねじをワッシャー（φ 23）とスペーサー（白）を挟んで固定する。

**Point 5** ● 必ずスペーサー（白）を入れてください。  
※ 便器の固定不良の原因になります。



## 7 便器の取付け

- 固定用粘着材を床固定部材に置く。  
固定用粘着材を床固定部材の上面中心に置き、包装紙を上にかぶせ固定用粘着材が床固定部材の突起部分に全て食い込むまで押しつけます。固定用粘着材を押さえながら包装紙を剥がします。
- 便器と排水アジャスターソケットを接続する。  
床固定用木ねじのボルト部に便器の固定用穴を合わせ、便器排水口を排水ゴムジョイントに差し込みます。

- 便器を固定用粘着材で固定する。  
中心を調整しながら便器先端をゆっくりおろし、便器と床固定部材を固定用粘着材で接着させます。  
便器前側を押し下げ、便器と床との隙間がなくなるまで固定用粘着材を潰します。

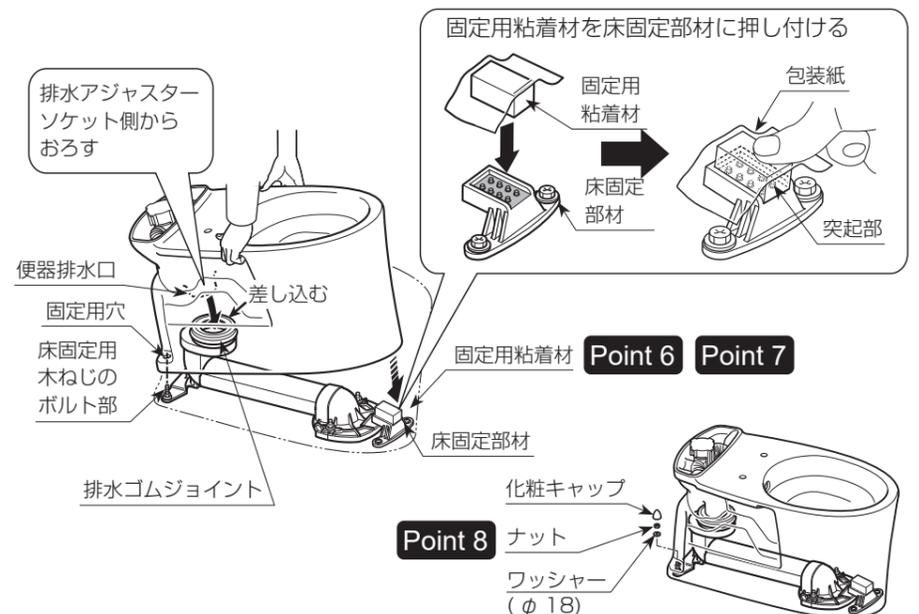
**Point 6** ● 気温が低い場合、固定用粘着材が固くなる場合があります。  
① 開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。  
② 20 ~ 30℃のぬるま湯で温めるなど、柔らかくしてからご使用ください。  
※ ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて温めてください。

**Point 7** ● 切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取除いてください。  
※ 便器の固定不良の原因になります。

- 便器をナットで固定し、化粧キャップをつける。  
床固定用木ねじのボルト部に、ワッシャー・ナットをはめ、便器を固定します。その上から化粧キャップを取付けます。

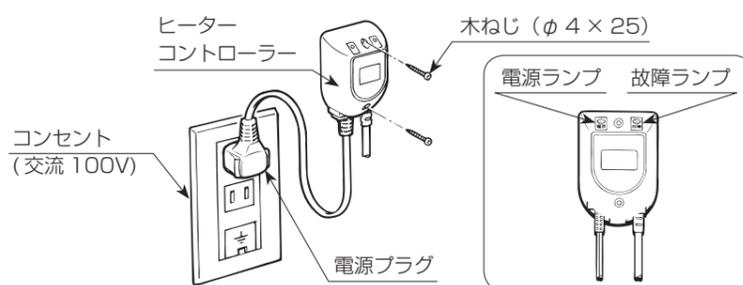
**Point 8** ● 強く締めすぎて便器を割らないこと。

- 固定状況を確認する。  
便器を軽くゆすり、固定されていることを確認します。



## 8 (ヒーター付便器の場合) ヒーターコントローラーの取付け

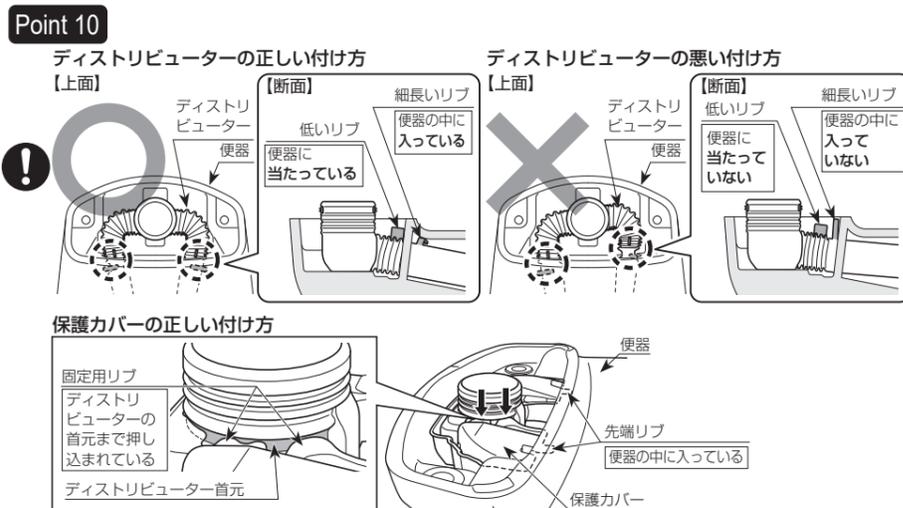
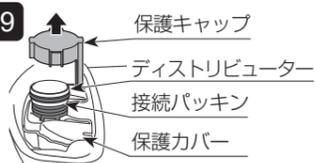
- ヒーターコントローラーの取付位置を決め、固定する。  
電源コードの長さ (1.5 m) を考慮して、木ねじで固定します。
- 電源をつけ、ランプの点灯・消灯を確認する。  
電源プラグをコンセント (交流 100 V) に差し込み、電源ランプ (オレンジ色) は点灯、故障ランプ (赤色) は消灯していることを確認します。



## 9 タンクまたはシャワートイレの取付け

タンクまたはシャワートイレ同梱の施工説明書に従って取付けてください。

- Point 9** ● ディストリビューターの保護キャップは、タンクまたはシャワートイレ取付け直前に必ず上方に真っ直ぐ外してください。  
タンクまたはシャワートイレを取り付ける前に、必ず接続パッキンが付いていることを確認してください。  
※ 施工前に保護キャップを外してしまうと、パッキンにゴミが付着し漏水が発生する恐れがあります。
- Point 10** ● ディストリビューターの左右の細長いリブが両方とも便器の中に入っていることを確認してください。  
入っていない場合、細長いリブを外側に曲げて、便器の中に押し込んでください。保護カバーの先端リブが便器の中に入っていること、保護カバーの固定用リブがディストリビューター首元まで押し込まれていることを確認してください。  
※ ディストリビューターの細長いリブが便器の中に入っていないと洗浄不良やタンクの止水不良が発生する恐れがあります。



## 便器の取付後のご確認

- 陶器表面にキズなどが無いことを確認してください。  
スジ状の線がついた場合には、市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、擦り洗いをして除去してください。  
それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置した後、布で拭き取ってください。  
その後、中性洗剤で洗い流してください。  
※ 洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。
- 施工完了後は、必ず試運転をして「漏水検査、水漏れ検査」を行ってください。  
検査内容は、機能部の施工説明書を確認ください。  
※ 取付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 施工完了からお客さまにお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、水栓や給水ホースから水を抜いてください。
- 施工完了からしばらく長期間にわたり通水をしない場合は、トラップに水を入れておいてください。  
※ 排水管からの臭気ガスにより、商品の内部金具がさびる恐れがあります。
- 給水管接続及び通水検査、水漏れ点検は必ず水道工事店様が行ってください。

- Point 11** ● 固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。  
※ 十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。

- 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。
- 施工終了後 本書を取扱説明書とともに、お客さまにお渡しください。

外観汚れ処置方法について、参考動画があります。  
詳細は右から読み取って、動画をご覧ください。  
※ 通信料はお客さまのご負担となります。  
※ お使いの環境・端末によっては、閲覧できない場合があります。  
※ 実物と動画のデザインが異なる場合があります。

